



最近話題の鬼退治。日本では昔から季節の節目である立春の前日を「節分」として、豆をまいて邪気(鬼)を払う儀式を行ってきました。

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし

節分

節分の日には、朝食と昼食は日常の食事と同じですが、夕食はご飯と小松菜、豆腐のみそ汁、サトイモ、大根、ニンジンなどを煮付けたもの、イワシの焼魚、漬物で済ませます。

夕食後は「福は内、鬼は外」の豆まきの行事を行います。豆まきの行事が済むと残った豆で豆茶をつくり、冬至に仕込んでおいた柚子のみそ漬けを食べながら豆茶を飲みます。

これがわが家の節分の行事と食事であり、これは一年間健康で、まめに働けるようにとの、まじないであると聞いております。

昔の行事

2月8日は仕事始めで、凍てついた霜柱の畑に鍬でザクザク音を立ててさくを切り、御幣を付けた卯木の枝を立て、酒と水で清めて鍬入れの儀式となります。今なら長靴で行ったであろうが、当時は靴もなく、凍てついた畑で鍬を担ぐ親父の後を、水と酒の徳利を持ってげた履きで付いていったと思います。

家では小米の粉で団子とまんじゅう、赤飯を蒸かして大変なごちそうでした。また、団子を卯木の枝に刺して入り口の

戸袋に刺しました。

何のための儀式なのか教えてもらおう事もなかったですが、田畑の神にこれから耕しますよ、今年も豊作でありますように、無病息災で働けますようにと祈った事でしょう。私が成人した頃にはどこでもやらなくなったようでした。

初午

初午の朝食はお団子と「すみっかり」です。お団子は米の粉を水で練り、これを蒸してから餅につき、これを団子にしてあんで包んだものです。すみっかりは大根、ニンジンをおろしでおろし、その中に節分で使用した豆、酒かす、油揚げ、煮干し、あるいは鮭の頭を細かく切って入れ、煮込んだもので、地方によっては「しもつかれ」ともいいます。

これらを神様に供え、また、稲荷様には、わらで作った「つとっこ」というものに入れて供え、これらのもので食事をします。

稲荷様には「奉納稲荷大明神」と色紙に書いた旗を上げます。この地方では、初午は火伏せの神様と言われ、防火のまじないのために母屋の北西の屋根に水をかける習慣があった記憶があります。



【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会

(平成13年11月11日発行「邑楽町のくらしとたべもの(第七集)あすへひとこと」)

(平成23年10月28日発行「邑楽町風土記(第十集)あすへひとこと」)より一部抜粋

ひとりごと From editors

▶成人式典には194人の新成人が集い、門出を祝った。新成人を前にし同級生に思いをはせた。▶私は1981年度生まれ、邑楽南中学校の卒業生。「同級生」は161人だった。中学時代の同級生は何かにつけて特別な存在。何かにつけてというのはもちろん良い面が多いがしかし、私の過去を知られている点では厄介だ(笑)。同級生はある意味自分の思春期をさらしながら同じ空間を過ごした仲間である。だからなのか今も同級生の近況に刺激を受ける。この刹那を生きる命が当たり前の存在ではないということをも教えてくれる。▶苦しいときでも楽しいときでも、同級生を思い出すことをこれからもするのだろう…。どこに居ても大切な同級生。さあ来年は「2倍成人式」。(深澤)



Photo 原田八重子(記録ボランティア)



若日を浴びて
(多々良沼公園)



広報おうら

ORA TOWN Public Relations

令和3年2月号 No.653

毎月1日発行



編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692(住所記入不要)

☎0276-88-5511(代表)

☎0276-47-5007(企画課直通)

☎0276-89-0136

https://www.town.ora.gunma.jp
koho@swan.town.ora.gunma.jp

おうちお知らせメール

配信を希望する人は、右のQRコードから、ご登録をお願いします。

http://cc9.easypocket.jp/(R+17)PC
http://cc9.easypocket.jp/k/ (携帯電話)



QRコード



携帯電話



この広報紙は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この広報紙は、自然保護のため植物油インキを使用しています。